

水道料金のお支払いは、
便利で確実な口座振替を
ご利用ください

口座振替とは

取扱金融機関が、あなたに代
わって指定された預貯金口座か
ら、自動的に水道料金を支払い
ます。

たいへん便利です

集金日が気になりませんから、
いつでも安心して外出できます。
特に留守がちの方や共働きの方
などに便利です。

手続きは簡単です

申し込みは、登別市・室蘭市
内の各金融機関と郵便局で受け
付けていますので、預金通帳に
ご使用の印鑑と最近の水道料金
領収書をご持参ください。

【表1】 平成13年度水道事業損益計算書

(単位：百万円)

支 出 の 部		収 入 の 部	
営業費用	723	営業収益	898
原水及び浄水費（受水費など）	215	給水収益（水道料金）	842
配水及び給水費（修繕費など）	33	受託工事収益（新設負担金など）	39
受託工事費（工事請負費など）	12	その他営業収益（下水道使用料	17
業務費（検針・徴収経費など）	14	徴収受託料）	
総係費（その他事業全般の経費）	18		
職員給与費（人件費）	174	営業外収益	8
減価償却費（配水管など）	243	他会計補助金など（人件費負担	8
資産減耗費（水道メーターなど）	14	金など）	
営業外費用	172		
支払利息など（借入金利子など）	172		
特別損失	2		
過年度損益修正損（料金時効分）	2		
支出計	897	収入計	906
当年度純利益（ - ）	9	の黒字は、前年度から繰り越された48百万円の欠損金に繰り入れました。その結果、未処理欠損金は、39百万円となります。	
前年度繰越欠損金（12年度赤字分）	48		
当年度未処理欠損金（ - ）	39		

【表2】 水道事業経営分析

項 目	12年度	道内市 順位	説 明
	13年度		
経常収支比率（経常費用に対す る経常収益の割合を表す） 経常 = (営業 + 営業外)	94.86%	31	厳冬期の地下凍結などの影響で48百万円の赤字を生じた結果、100%を切りました。 使用水量が落ち込みましたが、料金を改定したことで黒字になりました。
	101.25%	-	
職員1人当たり営業収益（職員 の効率性を表す）	4,895万円	13	職員数と仕事との効率率は、道内34市の平均額を上回っています。 料金を改定したことにより収益増となったことで、金額はアップしました。
	5,369万円	-	
職員1人当たり給水人口（職員 の効率性を表す）	3,297人	2	水道事業にかかわる職員数は、道内34市で少ない方のトップクラスです。 前年度と同レベルを維持しています。
	3,355人	-	
有収率（浄水場から送られた水 が使用された割合を表す）	83.65%	18	配水効率は、道内34市のほぼ平均となっています。 漏水調査などの効果で1ポイント程度上昇しました。
	84.70%	-	
供給単価（1立方メートル当りの水 の販売価格を表す）	166.01円	7	料金収入と使用水量によって、金額が変動します。道内34市の平均額より低額です。 料金の値上げと使用水量の落ち込みの影響で売値が上昇しました。
	181.40円	-	
給水原価（1立方メートル当りの水 の生産原価を表す）	180.96円	10	経常費用と使用水量によって、金額が変動します。道内34市の平均額より低額です。 経常費用は減りましたが、使用水量が落ち込んだため原価が上昇しました。
	184.66円	-	

注1. 道内市順位の13年度欄は、他市の統計が集計されていないため、空欄としています。

注2. 各項目の基礎となる数字は、営業活動を示す『営業活動にかかる収支（収益的収支）』を対象にしたものです。

【表3】 平成14年度予算執行状況（平成14年9月30日現在）

区 分		予 算 額	支 出 済 額	執 行 率
営業活動に かかる収支	収入	9億8,667万円	4億7,224万円	47.86%
	支出	9億4,747万円	2億9,128万円	30.74%
施設設備に かかる収支	収入	4億6,730万円	397万円	0.85%
	支出	7億9,132万円	2億8,135万円	35.56%
合 計	収入	14億5,397万円	4億7,621万円	32.75%
	支出	17億3,879万円	5億7,263万円	32.93%

水道事業に関する
お問い合わせは

水道部業務課

☎ 85 5 5 0 1

FAX 85 5 8 0 5